

いながわ 特派員報告



松永 ひさみ

久保田 由美

皆さんは「ファミリーサポートセンター」をご存知ですか。これは、子育ての応援をして欲しい人と、子育ての応援をしたい人が、会員になって有料で育児の相互支援を行うシステムです。

今回は、猪名川町が参画している「かわにしファミリーサポートセンター」の活動を通して、預ける側と預かる側がひとつになって子ども達を育む、そんな温かい交流を紹介していきます。

地域で育児を応援

ファミリーサポートセンターは、全国各地に設置され、運営は市町が行っています。このシステムは働く人達の仕事と育児の両立を支援する目的で誕生しましたが、現在では、子育てをしている全ての人が利用できるようになりまし

利用するには、まず会員登録が必要で、会員には、子どもを預けたい「依頼会員」、子どもを自宅で預かる「協力会員」、両方に登録する「両方会員」の3種類があります。援助対象児は0歳から小学校6年生までの子ども達。依頼内容は、保育所や学童保育終了後の預かり・保護者の病気や外出時の預かり・産後の育児のお手伝いなど、一時的で短時間の依頼が中心です。このシステムは、会員同士の信頼関係をもとに、成り立っています。依頼会員と協力会員が、お互いに安心して活動ができるように、顔合わせや打ち合わせを活動の事前に行っています。

かわいい笑顔を地域で育む

ファミリーサポートセンター

かわにしサポートセンターの現状

「かわにしファミリーサポートセンター」の会員登録数は、今年5月現在648人。その内、猪名川地区の会員数は72人です。同地区の5月の活動件数は26件で、そのほとんどが町内南部でした。依頼の中で最も多かったのは、保育所や学童保育終了後の預かりです。

センターでは、安心して活動ができるように、講習会や交流会などを実施しています。今年度は「子どもが遊ぶ遊びの実習」「障害児のサポート」「子どものケガや病気」などの講習会が予定されています。

会員に登録しませんか

センターまたは、町健康福祉課に備え付けの入会申込書に記入捺印のうえ、登録者の写真(3×2.4cm)2枚を添えて、センターに提出。その際、会員の心得などの説明を受ける。(センターに出向くことが困難な場合は、センターに相談) 登録すると自動的に、活動中の事故に備える保険に加入します。

料金 1時間あたり800円(月～金・午前7時～午後9時)上記以外900円。 兄弟姉妹で預ける場合は、2人目から料金半額

問い合わせは、かわにしファミリーサポートセンター(740-6800・川西市火打1丁目1-7)へ。

まるで孫のように

協力会員 福田潤子さん(川西市)
依頼会員 中村理恵子さん(川西市)



福田さんご夫妻と、畑で遊んでご機嫌の円香ちゃん(左)と友哉くん(中央)

福田潤子さんは、お子さんが独立され、ご主人の豪生さんと2人暮らし。子どもが好きで、5年前広報で協力会員の募集を知るとすぐに登録されたそうです。

6月8日は、中村円香ちゃん(5歳)と友哉くん(2歳)姉弟を昼間の4時間、預かることになりました。潤子さんが円香ちゃん達を預かるのはこの日が初めてです。潤子さんの心配をよそに、2人は潤子さんの膝に座ったり、おもちゃを出してもらったりして、すぐに遊びに熱中しました。ひとしきり家の中で遊んだ後、2人は隣接する豪生さんの畑へ。ホースで野菜に水をかけたり、いちごや梅を摘んだりして、外遊びを楽しみました。豪生さんは「まるで孫のようです」と目を細めておられました。

子ども達の母親の理恵子さんは「子ども達を連れていけない用事の時、利用しています。家から近いのと、一般の業者と比べて料金が手頃なのが嬉しいです」と、話されました。

今回、伺ったお宅では子ども達は実にのびのびと楽しそうに過ごしていました。核家族で子育ての手伝いが望めない時、まるで親戚がなにかのように受け入れてくれる所が身近にあったら、どんなに嬉しいでしょう。また、預かる方は、子育ての楽しさを味わえるのではないかと感じます。サポートできる人とサポートの必要な人を結び付けるこのシステムを、もっと多くの人に知って欲しいと思います。【いながわ特派員】

編集後記



兄弟ができたみたい

協力会員 小島千穂さん(松尾台)
依頼会員 桑田秀之さん(伏見台)



野菜を切る恵梨菜ちゃん(中央)と笑顔で見守る小島さん(後方)

松尾台小学校1年の桑田恵梨菜ちゃんは、学童保育の後、両親が迎えに来るまでの時間を毎日、小島家で過ごします。学童が終わる頃になると、小島さんは太一君(5歳)・元太君(3歳)といっしょに恵梨菜ちゃんを小学校に迎えに行くのが日課です。子ども達は、家で工作をしたり、影ふみをしたり、探検ごっこをしたり、まるで兄弟のように仲良く遊びます。また、料理のお手伝いが好きな恵梨菜ちゃんのために、小島さんは小さな包丁と手作りのエプロンを用意しました。いっしょに野菜を切りながら、小島さんは「女の子ができたようで嬉しいです。また、よそのお子さんを見る目線で自分の子ども達を冷静に見ることができ、子育てにもプラスになっています」と楽しそうに語られました。

迎えに来た恵梨菜ちゃんの父親の秀之さんは「子どもの安全を考えて入会しました。公のシステムなので安心して預けられます。子どもはとても楽しみに通っていますよ」と話されました。

みんなて話そう 地区交流会



楽しいカルタ取り

自分も楽しんでいる」という感想が出ました。

この日は、川西地区の会員達も駆けつけ、猪名川地区より先にスタートした川西地区の活動の様子を報告しました。若い年代の会員が多い猪名川地区に比べ、川西地区の協力会員は幅広い年齢層に渡っており、サポートの内容もさまざまです。子ども達の声がにぎやかに響く中、会員達は和気あいあいと語り合っていました。

猪名川地区の

サブリダーのお話

隣近所と子育てを助け合えるような環境であれば、それが一番いいことだと思いませんか。しかし、そういう環境にない人も多いでしょう。ファミリーサポートはそれに代わる素晴らしい援助活動です。猪名川町の人達に、もっと知ってもらい、活動の輪が大きく広がって欲しいです。